



Alfa Romeo Challenge 2006 車両レギュレーション

全クラス・全車ともアルファロメオ社製の車両を使用する事。 ヒストリック各クラス (H75・H130・H160・H180・H200・HR・HSR) はレギュレーション細則を参照。

	SR	MR300	MR200	AR300	AR200	AR150	AR100	ARL
車両	すべてのアルファロメオ	2001cc以上のエンジン (155は2501cc以上)	2000cc以下のエンジン (155は2500cc以下)	2001cc以上のエンジン (155は2501cc以上)	2000cc以下のエンジン (155は2500cc以下)	車種により6クラスに細分化 (1~6)	すべてのアルファロメオ	すべてのアルファロメオ
タイヤ	Sタイヤまで					ラジアルタイヤのみ	エントリークラス 原則的に 車両規定なし 実績のあるドライバーは不可	女性専用クラス 原則的に 車両規定なし 台数が増えれば、 単独ルールを施行
シート 1				(バックは背面カバー要)		定員数の座席必要 (バックは背面カバー要)		
シートベルト	4点式必須			4点式を推奨				
消化器	装着必須			装着を推奨				
法定車検 2	自由 3			車検証あり 4				
マフラー 5				リアサイレンサー必須				
エンジン 6				x				
内装 7				x				
冷暖房機器 8				x				
ファイナル				x				
ミッション		(ドグミッション除く)		x				
コンピューター		(フルコン不可)						
足回り								
LSD								
ブレーキ								
エアロ 9								
ホイール	(フィンガーはみ出し不可)							

- 1 ARクラスにフルバケットシートを装着する場合は、車検対応の背面カバーの装着が必要。
 - 2 ARクラスは原則的に、車検証の所有者もしくは使用者とエントリードライバーが同一であること。(ただし同居親族は可)
同一車両でのダブルエントリーは、メインエントリークラスより上位のクラス、もしくはAR100・ARLとの場合のみ可能。
 - 3 自走車両は、触媒装着等の道交法を遵守の事。
 - 4 有効な車検を有すること。検査切れ等での仮ナンバー装着は認めない。
 - 5 ARクラス及び自走車で触媒がない場合失格となります。(純正・社外品とも可能。)
 - 6 ARクラスはエンジンの一切の加工は不可。MR200の排気量変更は、改造申請書への記載とともに、かならずMR300クラスへ変更すること。
ターボ車のタービン交換はSRクラスとする。
 - 7 ARクラスの内装はカーペット、ドアの内張を含め排除不可。AR150は(サーキットでの取外しも含め)シートの取外し不可。
 - 8 ARクラスは、クーラー・ヒーターの取り外し不可。
 - 9 エアロパーツの装着は、バンクの際も地面につかないようにする。
- 追記 全車、基本灯火装置が正常に点灯する事。(カップカーも前照灯を装着義務) SR・MR300・MR200はロールケージ装着を強く推奨。
車両が該当するクラスより、左にあるクラスへのステップアップは自由。(MR200適合車両でMR300出場等)

< AR150の細分化適合車種 > 150-1 / 3.2 (GT, GTA, GTV) 150-2 / GTV&SPYDER3.0, 166(2.5, 3.0), 156V6, 155Q4, GTV2.0TB
150-3 / JTS(GT, GTV, 156), 156TS, 155V6 150-4 : 147TS(MT)
150-5 : 145TS, 146, 155TS, SPYDER2.0 150-6 : セレスピード, Q-system (GTA除く)

車両が該当するクラスより数字の少ないクラスへの参加は自由。(AR150-4の車両でAR150-3出場。AR150-6の車両でAR150-4出場等。)